

第17期 建設技術展示館

応募説明書

1. 展示スペース

第17期建設技術展示館のブースレイアウトについては、今までの画一的なレイアウトとは異なり大幅にレイアウトの変更を予定しております。検討中ではありますが、参考までにパース図を右に記します。

出展ブースは一般ブースと大型ブースとし、自由度を持たせたブースとします。展示方法については展示館コンセプトである「見て、触れて、体験」することができ、学生や一般の方々が興味を惹くと共に展示技術が自分たちの生活にどのように関わっているかを理解できる工夫をご提案ください。



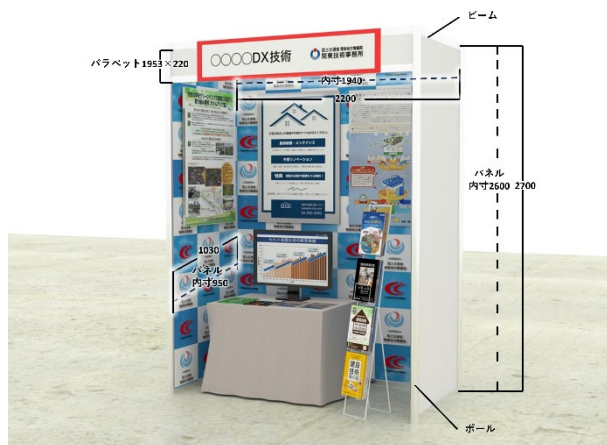
(1) 一般ブース

- 1ブース(小間)を最小スペースとし、同一テーマであれば1ブースで複数の技術応募も可とします。それぞれの技術の概要説明を明記すること。複数のブースを希望することもできます。上部から展示物等を吊す等、空間の利用も可とします。

※希望にそえない場合もあります。

- 1ブースあたりのサイズ:幅2.0m×奥行き1.0m

2×1mブースイメージ



2×1m 2ブースイメージ



展示ブース(イメージ図)

- パラペット(技術名)等のデザインは統一を図ります。パラペットは技術名称及び会社名のみとします。
- ブース内の展示品及び装飾について明記すること。レイアウト及び装飾については参考写真やポンチ絵でも可とします。また、ロゴマーク等を使用した装飾も可とします。商品名が必要な場合は装飾または説明資料パネル等にお願いします。
- 学生や一般の方々に当該技術が自分たちの生活にどのように関わっているか、省力化や環境対策、インフラの安全・安心など社会にどのように関わっているかを理解しやすいよう技術の展示を工夫すること。

- 既展示されている技術について応募する場合は展示方法等の工夫を検討し、レイアウトと共に現況との変更点等を明記すること。
- 展示館からは基本設備のみの提供とする。(パーティション、照明(スポットライト3灯)、電源(100V/5A コンセント))展示品・映像装置、机等の備品は展示者にて用意すること。

(2)大型ブース

- 1ブース(小間)のみとし、同一テーマであれば複数の技術応募も可とします。それぞれの技術の概要説明を明記すること。上部から展示物等を吊す等、空間の利用も可能です。大型ブースは複数のブースを希望できません。
※大型ブースは応募者数や全体レイアウトの都合上、一般ブースになる場合があります。
- 1ブースあたりのサイズ:幅3.0m×奥行き3.0m

3×3mブースイメージ



展示ブース(イメージ図)

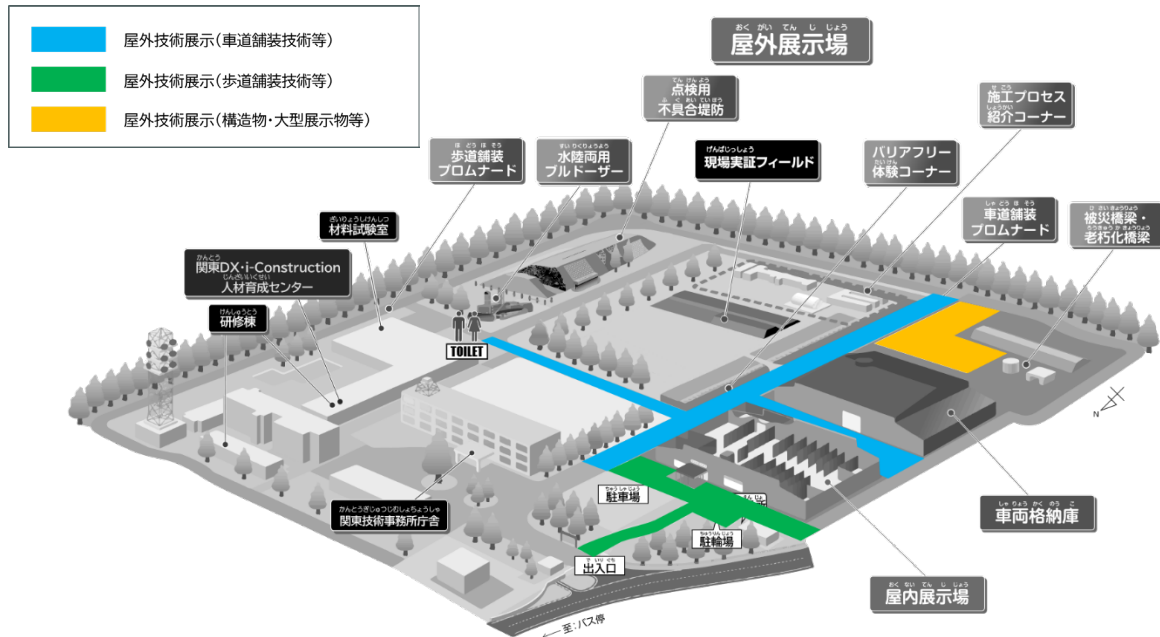
- 大型ブースはブースデザインに自由度をもたせたブース(参考:イメージ図)とします。ブース内には必ず展示テーマ及び技術名称を明記すること。技術名称、展示品を含めたブースレイアウト及び装飾を提案し明記すること。レイアウト及び装飾については参考写真やポンチ絵でも可とします。ロゴマーク等を使用した装飾も可とします。商品名が必要な場合は装飾または説明資料パネル等をお願いします。
- 学生や一般の方々に当該技術が自分たちの生活にどのように関わっているか、省力化や環境対策、インフラの安全・安心など社会にどのように関わっているかを理解しやすいよう技術の展示を工夫すること。
- 展示館からは基本設備のみの提供とする。(パーティション、照明(スポットライト6灯)、電源(100V/5A コンセント×2))展示品・映像装置、机等の備品は展示者にて用意すること。

(3)屋外展示

- 屋外展示場での実物展示のほか、屋内展示ブースと連動した屋外での技術展示も可とします。
- 屋外展示は下記の図の位置を予定としています。展示希望位置及び範囲を明記すること。範囲については出展者の数により調整します。
- 技術展示による施工はすべて出展者の負担となります。
- 技術説明看板等について展示技術の近傍に設置することとし、設置位置等を明記すること。舗装ペイント、文字、社名ロゴ、展示技術などを道路部分に記載する場合も同様に明記すること。設置位置・大きさなどについては事務局との調整になる場合があります。

※希望にそえない場合もあります。

- 構造物、大型展示物の場合は展示物の大きさと設置位置・展示広さ、展示方法を明記すること。設置位置・展示広さなどについては事務局との調整になる場合があります。
- 仮設等が必要な場合は展示物及び展示方法と同様に明記すること。仮設物については展示者にて用意すること。



2. 建設技術展示館の積極的な広報などの取組

(1) 出展技術発表会への参加

建設技術者の方々を主な対象に、公共工事に係る技術者の知識習得及び技術の普及を図ることを目的に建設技術展示館の出展技術について発表いただいております。

(2) 夏休み子供体験教室への協力

未来を担う子供たちに「土木」や「建設技術」について関心を持ってもらうことを目的に、また、周辺地域との連携を深め、広く公共事業や建設業界へのご理解をいただくこと目的として実施しております。

(3) 団体見学者への技術説明

建設技術の知識習得及び研鑽のため展示技術の説明を希望される団体見学者がご来館されます。1 技術あたり 30 分程度のご説明をお願いしています。依頼された場合は説明いただけるようご調整ください。

(4) DX パークへのコンテンツ等の無償提供について

DX パークでは建設 DX を体験し、「土木」や「建設技術」について関心を持ってもらう、また DX 技術をご活用いただくきっかけとするべく、レーザースキャナやトータルステーション、VR や LiDAR などの体験を実施しています。VR 等のコンテンツや機材など無償提供、無償貸与についてご協力ください。

(5) 独自イベントの開催

展示技術の紹介や建設業の魅力発信など、建設技術展示館を活用した独自イベントの積極的な企画・開催をお願いします。

(6) 集客につながる展示館の積極的な広報について

より多くの方々に建設技術を知っていただくため建設技術展示館の積極的な広報にご協力ください。また、研修等にご活用いただけるよう関係部署、関連会社等に周知していただけるようお願いいたします。